

都市と防災 I

科目ナンバリング POL-317
選択 2単位

関 英男

1. 授業の概要(ねらい)

災害対応では、不特定多数を迅速かつ確実に動かすコントロール手法が重要になります。また、人権侵害や優先順位などが問題になります。この講義では、行政がどう規制し、どう助成したか、どう自己評価し、どう変えたかに焦点を当てます。大都市における最近の事例と被害予想、災害対応の歴史と現状について対象とします。

2. 授業の到達目標

防災行政の基礎知識と勘所を身につける。そのために、映像も含めて、多くの情報を提供します。

3. 成績評価の方法および基準

期末レポートで75%。出席は毎回取り、適宜感想を書いてもらい25%。

4. 教科書・参考文献

教科書

使用しない。

参考文献

『防災白書』のサイトを初め、内閣府防災、総務省消防庁、自治体などの防災のサイト。新聞社や、過去の震災などのデータベースサイト。

5. 準備学修の内容

行政学、地方自治、近現代日本政治の知識があれば、より理解しやすくなります。

6. その他履修上の注意事項

防災関連のサイト・記事を、頻繁に見るようにしてください。そして、考えてください。期末レポートは、自分の出身地とかを対象に、できるだけ細かいテーマで書いてください。卒業論文を書く訓練として、早めに着手してください。

7. 授業内容

- 【第1回】 首都圏直下型地震の被害予想
- 【第2回】 首都圏大洪水の被害予想
- 【第3回】 熊本地震の対応
- 【第4回】 阪神大震災と東日本大震災の対応
- 【第5回】 最近の台風被害の対応
- 【第6回】 阪神大震災以前の災害対応
- 【第7回】 インシデント・コマンド・システム(ICS)
- 【第8回】 アメリカの最近のハリケーン対応
- 【第9回】 防災に関する法制度と計画
- 【第10回】 内閣府防災担当
- 【第11回】 消防
- 【第12回】 日本軍・自衛隊による救援
- 【第13回】 警察・国土交通省・海上保安庁による救援
- 【第14回】 自治体の災害時広域支援
- 【第15回】 気象庁